

Legacy™インプラントを深めに埋入する際の注意点

Legacy™インプラントはボーンレベルタイプのインプラントシステムであり、さらには SBM ブラスティング処理を上端まで施し、ネック部にはミニスレッドを付与したデザインで骨のダウングロスを抑制しています。(図 1)

したがって、インプラントは確実に骨内に埋入する必要があり、ケースによっては骨頂の傾斜により埋入後インプラント上端が一部深くなることがあります。(図 2)

Legacy™インプラントを埋入するにあたって、あらかじめ埋入インプラントの直径に応じた CBD ドリルを用意し、埋入深度が深くなる場合には骨孔入口にカウンターシンクを形成します。(図 3) ※逆回転にて形成

【カウンターシンク形成の効果】

- ①インプラント生着後、ヒーリングカラーや印象用パーツ、さらにはアバットメントを骨が干渉せず、確実に装着することができる。(図 4)
- ②Legacy3 に付属するキャリアーのボディはインプラントより太いが、埋入時にキャリアーボディが骨に噛み込まない。(図 5)

さらに、埋入途中にキャリアーを取り外し、インプラント内部 Hex に 2.5mm ヘックスインサーションツールを挿入して、所定の深さまで埋入することで (図 6a-b)、Legacy3 のキャリアーの骨への噛み込みをより確実に防止することになります。

この方法は、埋入時にインプラント上端の埋入深度も確認しやすく、Legacy1 や 2 の場合にも有効です。

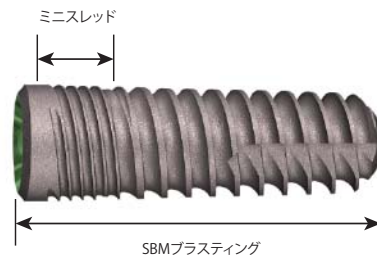


図 1: Legacy のボディデザイン

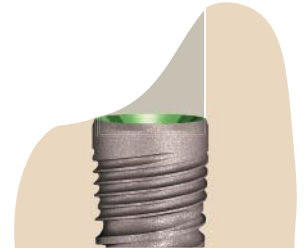


図 2: 埋入深度のギャップ

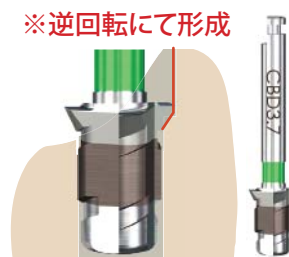


図 3: CBDドリルによる
カウンターシンク形成



図 4: 補綴パーツの確実な装着

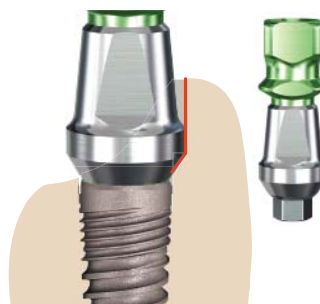


図 5: Legacy3 のキャリアー
の噛み込みを防止

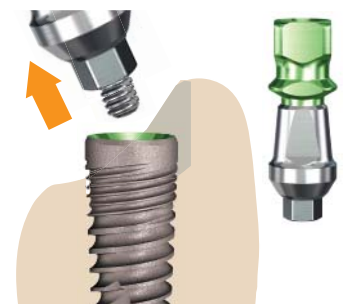


図 6a: 埋入途中での
キャリアーの除去

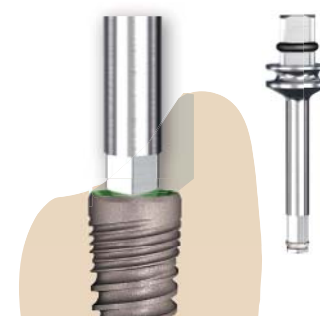


図 6b: 2.5mmヘックスイン
サーションツールによる
所定深度までの埋入